

めざす子ども像

やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子ども の育成「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす

取組目標

学校が大好きで、ふるさとが大好きな都跡の子どもを育てる

【今年度の取組紹介】

- ・自治会と共催の「都跡ふれあいまつり」は今年度飲食ブースも再開されコロナ前の形態で小学校にて盛況に開催されました。地域住民のふれあいの場にすべく、園、小、中、高、公民館も協力して運営にあたりました。体育館では中学校生徒会による司会のもと、園児のおゆうぎや小中高の楽器演奏、公民館自主グループの発表が行われました。



大学生参画事業の奈良女子大学生1名が準備委員会から参加し、前日会場設営、当日は体育館の音響を担ってくれました。会場の片付けは生徒と一緒に行う事ですみやかにできました。

- ・小学1年生の昔遊びを今年度からサポートすることになりました。

当日は体育館で、地域の方々や大学生と一緒に児童たちと様々な遊びをして楽しい時間を過ごしました。公民館に協力をお願いしたことで、自主グループ連絡協議会の方々、みあと幸齢者学級のみなさんにお手伝いいただき、新たなつながりができたと感じています。中には、自慢のコマを持参して子どもたちに熱心に紐の巻き方を教える方や、手のひらでのコマ回しを見せてくださる方もおられました。



【今年度のまとめ】

- ・地域との共催のふれあいまつりでは、住民同士の交流の場が持て、園児や児童、生徒たちに発表の機会が与えられたことは喜ばしく思います。飲食ブースやその他の遊びのブースでも地域の方々と活動する中学生たちは頼もしかったです。
- ・読み聞かせボランティアの勉強会を毎月行うことにしたので、情報交換の場ができ、活動の依頼もスムーズにできました。

【来年度に向けて】

- ・年度末の広報紙「みあと」、学期ごとのボランティア募集のチラシは、引き続き発行し、地域への広報活動を継続します。
- ・中学生が地域との連携事業（ふれあいまつり等）に企画段階から参加できるように働きかけます。
- ・中学校での朝の読み聞かせを再開したので、次は読書離れを改善すべく、授業前、朝の図書室開室時間を増やす工夫をボランティアの協力を得て進めていきたいです。

めざす子ども像

やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成**「確かな学力」と「豊かな心」を育むことをめざす**

取組目標

人を愛する心や学校・地域を愛する心を育てる。**地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割を担える生徒の育成。****【今年度の取組紹介】**

- 毎年生徒たちも楽しみにしている植物の栽培活動。本校の目玉でもある「ゴーヤカーテンづくり」と「サツマイモ栽培」を今年も実施することができました。今年は夏の猛暑のため、ゴーヤの収穫が昨年よりもうまくいきませんでした。しかし、「サツマイモ栽培」については、昨年よりもたくさんのサツマイモが収穫できました。収穫したゴーヤやサツマイモは、地域の皆様や来客者にも振舞うことができました。また、みあと花壇やプランターには多くの花を植え付けて育てることができました。これらの日々の世話は『いきもの係』が中心になって水の世話などを行いました。
- 読書推進事業では、地域コーディネーターやボランティアの方々と市の図書館司書の方が定期的に来ていただくようになり、図書室の環境整備や書籍管理を行っていただいています。また、今年度途中より「朝の図書室開室」を始めたり、コロナ前に取り組んでいた「絵本の読み聞かせ」を復活させたりしました。

**【今年度のまとめ】**

新型コロナウイルス感染症への対策が緩和され、これまでの取組を再度検討しながら無理なく実施できる活動を取り組みました。生徒と地域の方々が協働して行う栽培体験活動と図書室環境整備等を通じた読書推進事業が取組の中心でしたが、地域の方々と触れ合う機会を多く持ち、共に活動させていただきました。令和元年度から活動をスタートさせた「いきもの係」も徐々に定着してきました。また、ボランティアとして地域活動や学校美化活動に参加する生徒たちの姿が増えてきました。生徒たちの地域に対する理解や関心が高まり、活動を通して自分たちの学校をきれいにしていく美化意識の向上や地域の方との協働につなげることができました。

【来年度に向けて】

- コーディネーターやボランティアの募集活動の協力ができるよう、中学校での支援事業を中心に、学校HP等での発信にも力を入れ、よりたくさんの保護者等にも引き続き周知していきたいと思います。
- 読書推進事業で、図書室開室の機会を増やすことができましたが、安定した利用者数の増加につながっていない現状があります。図書室の環境は良くなっているので、生徒が図書室に出向く仕掛けの工夫をしていきたいと思います。

めざす子ども像

やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成「確かな学力」と「豊かな心」を育むことを目指す

取組目標

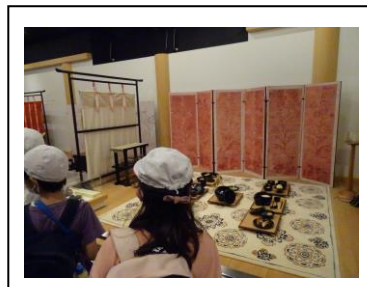
**世界遺産のあるまち
都跡で暮らし、都跡を学び、都跡を誇れる児童の育成**

【今年度の取組紹介】

○ 平城宮跡オリエンテーリング

4年生が平城宮跡歴史公園内を地域のボランティアの方々の協力を得ながらオリエンテーリングをしています。

今年度は平城宮跡歴史公園の奈良県推進事業部の方の協力もあり、より深い学習を行うことができました。半日の活動でしたが、平城宮跡のさまざまな場所を歩いて回り、それまで学習したことと結びつけながら活動しました。チェックポイントではボランティアの方々から詳しいお話をしていただき、興味をもって取り組むことができました。



○ 学校図書館支援事業

子どもたちが本にふれる機会をふやそうと、地域コーディネーターや図書館司書の方を中心に数多くのボランティアの方々が学校図書館の環境整備や本の整理を行っています。今年度は読み聞かせ活動を放送で行い、教職員に図書室にあるお勧めの本の紹介のポップを作成していただくなど、学校とボランティアの方々と協力し、取り組むことができました。また、コーディネーターの方には本の紹介だけでなく、選書から関わっていただきました。



図書室のポップ

【今年度のまとめ】

- 都跡の地域の方々は、「子どものためなら」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる」と考え、できることは何かを考え、様々な場面で学校に協力してくださっています。特に、図書ボランティアは継続的な活動として取り組んでくださっています。また、新たにボランティアを志望してくださる方も多くいらっしゃいました。教職員や子どもたちは、このような地域の方々の温かい気持ちに実際に触れることで、地域の方々の思いを知ることができたと思います。こうした地域の方々と子どもたちが一緒に活動する場面が増えるよう、各活動の実施方法を検討していきたいと思います。

【来年度に向けて】

- 今まで築き上げた「子どもたちから地域の方々が見える」「教職員から地域の方々が見える」という関係を大切にしながら、地域の方々と子どもたち・教職員がつながる場面を確立・拡大していきたいと考えています。

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、
未来をきりひらく子どもの育成
「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ
ことをめざす**

取組目標

みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園

【今年度の取組紹介】

○ 読み聞かせ事業

地域の方による『わくわく絵本タイム』、保護者による『お話の日』を実施し、教育の時間だけでなく、預かり保育や未就園児保育でも絵本の読み聞かせをしていただきました。子どもたちは朝から楽しみにし、「準備ができました。絵本を読んでください。」と自分たちのクラスまで手をつないで話をしながら案内していました。地域の方の温かい声に絵本が始まると、子どもたちは、食い入るように真剣に聞いたり、先生や友達と一緒に笑ったりしていました。未就園児保育では、「親子で一緒に絵本を楽しんだり、子どもの表情をゆっくり見たりと、心が落ち着き、ほっとする時間をもらえて嬉しい」という声も聞きました。年間を通じて多くの方に心のこもった読み聞かせをしていただくことで、子どもたちはよりお話に興味をもち、絵本の世界に入り込み、豊かな心を育むことができました。



○ 本物にふれる体験事業

より地域を知る機会にと考え、春の遠足に今年度も平城宮跡に出かけました。当日は厳しい暑さが予想されたので、付き添ってくださった地域の方々が、道中、園が用意しておいた霧吹きをミストがわりにして子どもたちに後ろや横からふりかけ、熱中症対策をしながら共に安全を見守っていただきました。そして秋の自然を肌で感じながら平城宮跡へドングリ拾い、唐招提寺も行きました。2月には薬師寺に出かけ、境内を散策していると梅の花が咲いているのを見て春の訪れを感じたり、金堂で僧侶による仏像や塔等の話を聞いたりしました。如来さんは薬の先生ということをお教えていただき、仏像の前で「風邪が治りますように」「みんながずっと元気でいられますように」と手を合わせて、お祈りしている子どもたちでした。世界遺産に囲まれている都跡地区。自分たちの住む町を歩いて散策することができるのも地域の方が付き添ってくださるおかげです。自分たちの住む町に咲いている草花や公園、お店等、地域の方と歩きながら話をしたり触れたりして町の良さを感じることができ、思いやりや温かい心に触れ、コミュニケーション能力の向上にもつながりました。



【今年度のまとめ】

- 活動内容や方法を地域の方と相談しながら、環境整備事業・本物にふれる体験・読み聞かせ・栽培活動・広報活動に取り組みました。年間を通して多くの方に来園いただき、地域の方を身近な存在と感じ、人の温もりや優しさに接することで、感謝の気持ちや思いやりの心を育むことにつながり、様々な体験活動を通して、豊かな心を育む機会となりました。

【来年度に向けて】

- 引き続き『みんなで遊びを創る笑顔あふれるこども園』を目指し、子どもたちにとって豊かな経験となるよう活動を継承していくと共に、内容や活動方法を見直し、地域・保護者との連携を深め、教育・保育の充実をさせたいと思います。